

高知西南地域公共交通総合連携計画の策定について

1. 現状認識と計画の必要性

【主要課題】

- ① 公共交通を地域で支えていく意識の醸成
- ② 土佐くろしお鉄道やバス会社の経営基盤の強化
- ③ 利用者の視点に立った利用環境の整備

土佐くろしお鉄道と地域バスが有機的にネットワークした地域公共交通総合連携計画の必要性・重要性

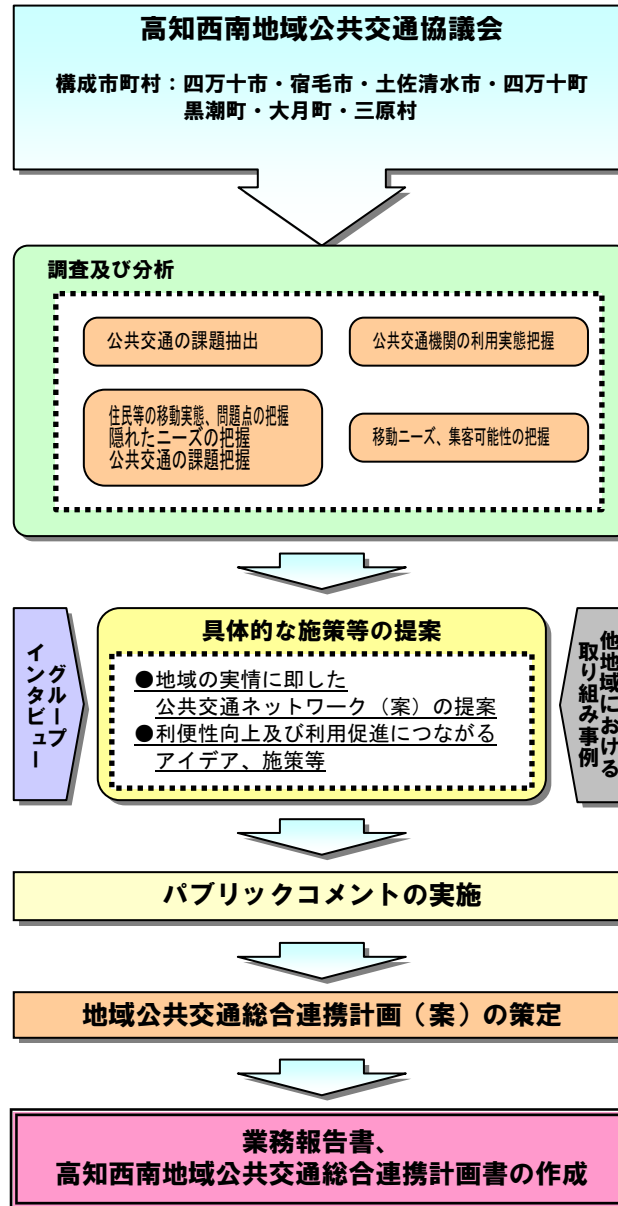
- 公共交通機関（モード）間の連携強化による利便性の向上
- 関係主体の持続可能な協力・連携体制の構築による地域交通の維持確保
- 地域づくりにおける公共交通の役割・意義（社会的価値）の再認識

2. 地域公共交通総合連携計画策定の基本的な考え方

- ① 利用可能な公共交通から利用したくなる公共交通へ
- ② 関係主体の連携に基づいた地域づくりに不可欠な公共交通へ
- ③ 地域公共交通の持続的な維持のための目標の共有化

- 土佐くろしお鉄道を中心とする地域公共交通の活性化・再生
- 地域が目指す将来の姿（目標）を実現する一つの下位計画としての位置づけ
- 高知西南地域の優位な特性（貴重な自然資源等の存在）を踏まえた、地域の独自性の発揮

3. 調査検討フロー



4. 地域公共交通機関の連携のイメージ

■ 1：土佐くろしお鉄道（中村・宿毛線）の利用促進を目指したバス交通との結節改善

■ 2：地域特性に着目した生活交通と観光交通の2面性を持った広域的な連携

5. 公共交通利用促進の取り組み体制

◎ みんなで考え支える地域公共交通

（モード間及び関係主体における総合連携の基本イメージ）

